

ウ 公的年金制度に対する関心がない理由

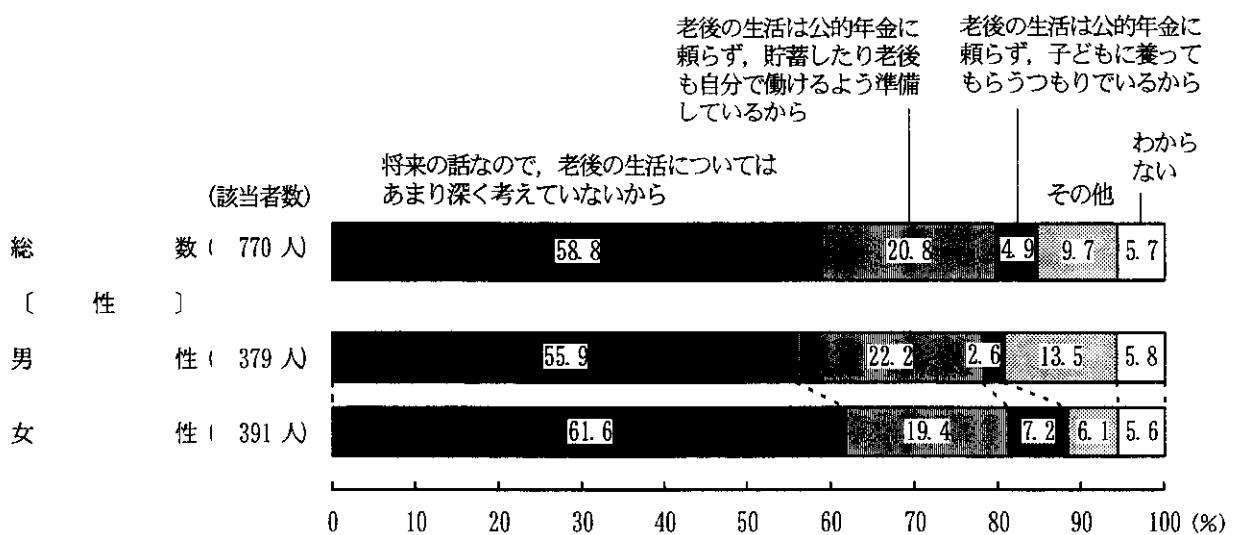
「あまり関心がない」、「ほとんど（全く）関心がない」と答えた者（770人）に、公的年金制度について関心がないのは、どのような理由からか

平成15年2月

- ・ 将来の話なので、老後の生活についてはあまり深く考えていないから 58.8%
- ・ 老後の生活は公的年金に頼らず、貯蓄したり老後も自分で働けるよう準備しているから 20.8%
- ・ 老後の生活は公的年金に頼らず、子どもに養ってもらおうつもりでいるから 4.9%

図8 公的年金制度に対する関心がない理由

（「あまり関心がない」、「ほとんど（全く）関心がない」と答えた者に）

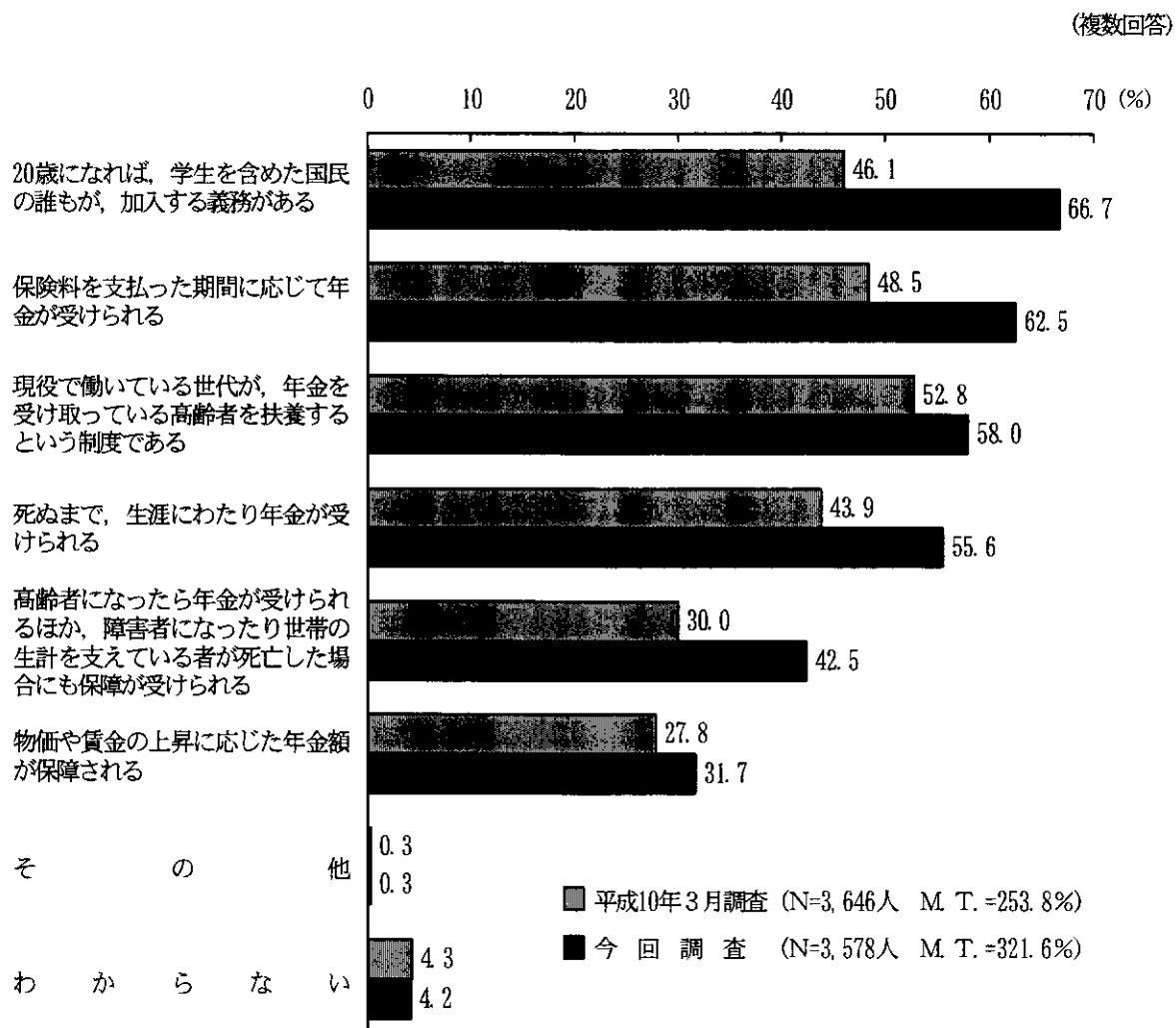


(3) 公的年金制度の仕組みや役割についての認識（複数回答，上位4項目）

現在の公的年金制度の仕組みや役割には，どのようなものがあるか

	平成10年3月	平成15年2月
・20歳になれば，学生を含めた国民の誰もが，加入する義務がある	46.1%	→ 66.7% (増)
・保険料を支払った期間に応じて年金が受けられる	48.5%	→ 62.5% (増)
・現役で働いている世代が，年金を受け取っている高齢者を扶養するという制度である	52.8%	→ 58.0% (増)
・死ぬまで，生涯にわたり年金が受けられる	43.9%	→ 55.6% (増)

図9 公的年金制度の仕組みや役割についての認識



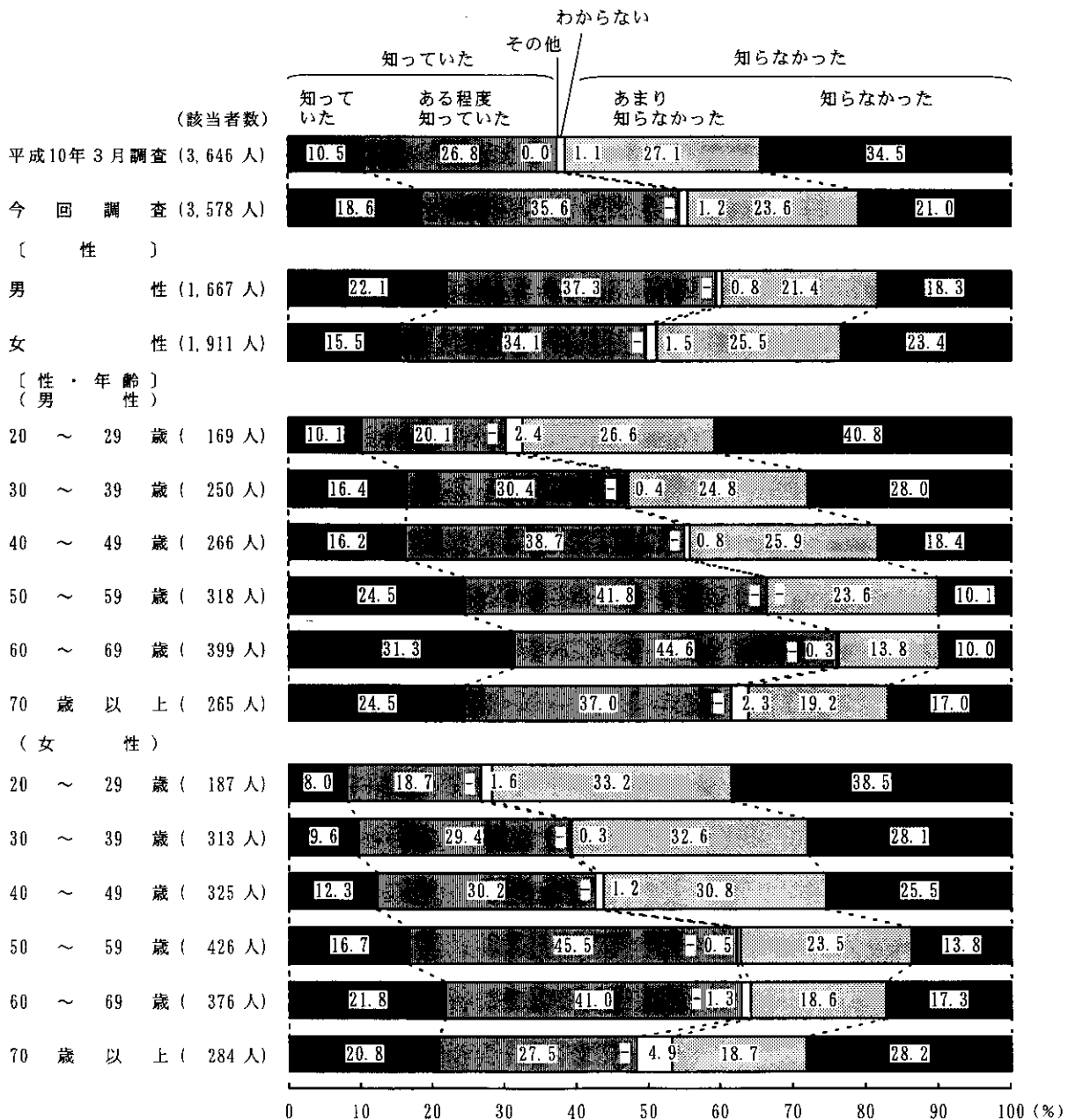
3 公的年金制度の改正について

(1) 次期改正に向けた動きについての周知度

平成16年の年金制度改正に向けた検討が進められているが、そうした年金制度の改正に向けた動きについて知っていたか

	平成10年3月	平成15年2月
・知っていた	37.3%	54.2% (増)
知っていた	10.5%	18.6% (増)
ある程度知っていた	26.8%	35.6% (増)
・知らなかった	61.6%	44.6% (減)
あまり知らなかった	27.1%	23.6% (減)
知らなかった	34.5%	21.0% (減)

図10 次期改正に向けた動きについての周知度



(2) 公的年金制度の給付と負担についての考え方

「公的年金制度の負担と給付の関係は、働いている時に納めた保険料の実績に応じた額の年金が給付されるなどの負担と給付の関係が明確な仕組みであった方が良い」という意見があるが、どのように思うか

平成15年2月

・ 思う	81.1%
思う	49.4%
どちらかといえば思う	31.7%
・ 思うわない	7.9%
どちらかといえば思うわない	4.9%
思うわない	3.0%

図11 公的年金制度の給付と負担についての考え方

